

平成 24年 3月 28日

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部
氏 名 藤田達生

活動テーマ	藤堂高虎と藤堂藩に関する研究の発表と公開—津開府400年に向けて—
実施期間	平成 23年 4月 1日 ～ 平成 24年 3月 31日
活動内容	(1) 具体的な活動実施内容 月例会の記録 第1回三重大学歴史都市研究会例会 日時 5月21日(土) 15時～17時 報告 藤谷 彰氏「近世中期の名張藤堂家と家臣団構造」 会場 三重大学教育学部 PBL 演習室2 (共通教育棟3階) 第2回三重大学歴史都市研究会例会 日時 6月26日(日) 15時～17時 報告 藤田達生「『統集懷録』について」 会場 三重大学教育学部 PBL 演習室2 第3回三重大学歴史都市研究会例会 日時 7月23日(土) 15時～17時 報告 竹田憲治氏「寒松院藤堂家墓所について」 会場 寒松院藤堂家墓所 第4回三重大学歴史都市研究会例会〔公開研究会〕 日時 9月17日(土) 15～17時 報告 松島 悠氏「城跡の復元と整備について」 藤田達生氏「大河ドラマと地域おこし」 会場 三重大学共通教育棟1号館4階419講義室 第5回三重大学歴史都市研究会例会 日時 10月15日(土) 15時～17時 報告 山田雄司氏「西島八兵衛の事績」 会場 一般教育一号棟3階PBL教室2 第6回三重大学歴史都市研究会例会 日時 11月27日(土) 15時～17時 報告 山口泰弘氏「津藩の絵師」 会場 一般教育一号棟3階PBL教室2 第7回三重大学歴史都市研究会例会〔公開研究会〕 日時 3月25日(日) 15～17時

報告 太田浩司氏「大河ドラマはマチに何を残したか——地方博物館のマチづくりへの挑 戦——」

会場 三重大学共通教育棟 1 号館 4 階 419 講義室

これらは、センター紀要『ニュース・レータ』2号に収録し刊行した。

（２）地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）

本年度は、藤堂高虎が現在につながる津城とその城下町を改修してからちょうど 400 年目にあたる。それを記念して三重大学では地域戦略センターがシンポジウム「現代によみがえる藤堂高虎」を主催した。三重大学歴史都市研究センターは共催団体となったが、その企画段階から中核的に関与し、前葉津市長や 100 人を超える市民の参加を得て盛会のうちに終了することができた。

シンポジウム「現代によみがえる藤堂高虎」

◎開催日：平成 23 年 11 月 13 日（日）

- ・安部龍太郎氏（歴史小説家）
- ・松島 悠氏（三重大学歴史都市研究センター）
- ・福井健二氏（伊賀文化産業協会）
- ・藤田達生氏（三重大学歴史都市研究センター）

*開演時間 午後 2 時 30 分開演 午後 5 時 30 分終演

*場 所 津市センターパレスホール（津センターパレス 5 階）

*主 催 三重大学地域戦略センター

*共 催 三重大学歴史都市研究センター

（３）共同実施者との連携状況

例会に出席いただいている。

（４）大学の教育・研究成果のかかわり

刊行したセンター紀要『ニュース・レータ』2号の各論考は、学界に寄与しうる水準のものである。

（５）イベント等開催実績（名称、実施場所、参加人数等）

第 4 回と第 7 回の研究例会を公開研究会として市民に開放した。第 4 回は前葉津市長も出席された。参加人数は第 4 回が 50 人第 7 回が 12 人だった。